



① 梱包のポリ袋に6リットルの水を入れて、ココピートを1時間～2時間ほど浸して置きます。  
※ぬるま湯を使うとほぐれやすくなります。



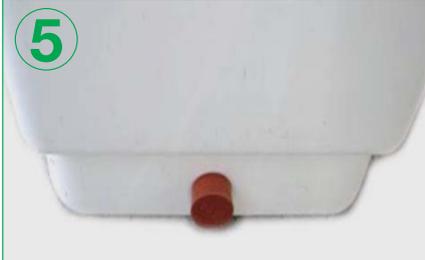
② ココピートが柔らかくなってきたら、外側から手で押しつぶす様に形を崩します。



③ ココピートが完全にほぐれたら、くん炭(土壌改良材)を入れ、袋の口を再びしばり、良く混ぜ合われば培養土の完成です。



④ プランターに、油性マジックやクレヨンなどを使って自由に絵を描きましょう。シールや写真をベタベタ貼ってもOKです。



⑤ 室内に設置する場合は、水がこぼれ出ないようにプランターにゴム栓をしてください。屋外に設置する場合はゴム栓はしないで下さい。



⑥ みたすタンクの給水口に、給水マットの先のロープをビニール補強がついた部分まで、差し込み、プランターの底に設置します。



⑦ もみがらをタンクの上から全体的にかけ、①～③の行程で作った培養土をもみがらの上から入れていきます。



⑧ 給水マットは土の表面から3cm程度の深さに側面に沿って埋めます。2列に種をまく場合、マットはプランターの真ん中に埋めます。



⑨ 野菜や花の苗を植えたら、給水マットを土で隠れるように埋めます。種の場合は、そのまま土の上にまいてください。



⑩ タンクに水が満タンになるまで入れます。タンクの蓋はしっかりしめて下さい。空けておくと、水の減りが早くなります。



⑪ 時々、水位棒で水量を調べて水を補給しましょう。時間が経過して土が乾燥している場合は、土に水をたっぷりあげてください。



⑫ ベランダや屋上・屋外などの日当たりが良い場所に置いたり、室内に置いて育てましょう!  
Let's MERRY GARDEN!

※ 梱包のポリ袋はココピートを培養土に戻した後、水で洗浄し、種まきしたプランターの密閉カバーに使用することが出来ます。  
また、同梱の水位棒はプランター内の土に、種まき用の線状穴をあけるために使用したり、密閉カバー用ポリ袋の支えとしても使用することが出来ます。